

運命は苛酷な結末をつきつける…

佐渡裕 芸術監督プロデュースオペラ2012

トスカ

残席わずか! お急ぎください!!

2012 7/19(木)・20(金)・21(土)・22(日)・24(火)・25(水)・27(金)・28(土)
【全8公演】

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール 各日 2:00PM 開演 (1:15 PM 開場) 上演時間: 約2時間45分予定(休憩含む)

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分) A 12,000円 B 9,000円 C 7,000円 D 5,000円 E 3,000円

ご予約・お問合せ

芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (インターネット予約) <http://www.gcenter-hyogo.jp>

[10:00AM～5:00PM 月曜休※祝日の場合翌日]

〈インターネット予約〉<http://www.gcenter-hyogo.jp>

24時間予約可能!▶▶▶ 兵庫県立芸術文化センター 検索

一般発売

2/19 ⓘ

●チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 156-538] <http://pia.jp/t/> ●e+ (イープラス) <http://eplus.jp> (パソコン&携帯電話)
●ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応) 0570-084-005 [Lコード: 52969] <http://l-tike.com>
[直接購入] ローソン、ザンクス、セブンイレブン、ファミリーマート、サークルK ※プレイガイドでの取り扱いについては各プレイガイドへお問合せください

◆託児サービスのご案内(有料・定員あり・要予約)／【対象】3才以上小学校入学前まで。【申し込み】公演日の1週間前までに、芸術文化センターチケットオフィスへお申込みください。

【ご注意】※未就学児のご入場はご遠慮ください。※やむを得ない事情により、出演者等が変更となる場合があります。最終の出演者は当日発表とさせていただきます。※公演中止の場合をのぞき、入場料金の払い戻しは致しかねます。※開演時間に遅れますと、長時間入場をお待ちいただいたり、立ち見となる場合がございます。時間に余裕を持ってお越しください。※場内での写真撮影、録音、録画、携帯電話等のご使用は、固くお断りいたします。※本公演の字幕は舞台の両脇に設置されます。一部見にくい席がある場合がありますが、あらかじめご了承ください。

主催／兵庫県、兵庫県立芸術文化センター(制作)

文化力
POWER OF
CULTURE



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

 兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中!

詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

便利なアクセス!!

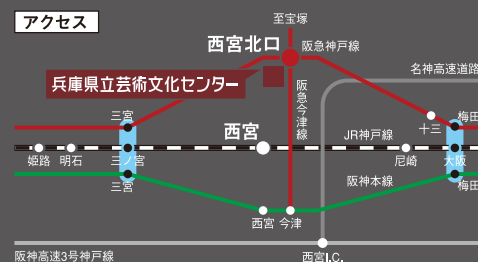
大阪・梅田からも神戸・三宮からも
ホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。



2012 7/19(木)・20(金)・21(土)・22(日)・24(火)・25(水)・27(金)・28(土)
[全8公演]

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール 各日2:00PM 開演 (1:15PM 開場)
上演時間: 約2時間45分予定 (休憩含む)

芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM~5:00PM / 月曜日 休 ※祝日の場合翌日)

<http://www.qcenter-hyogo.jp> 主催／兵庫県、兵庫県立芸術文化センター(制作)

残席わずか!
お急ぎください!!

平成24年度 文化庁優れた劇場・
音楽堂からの創造発信事業



永遠の都ローマを舞台に繰り広げられる
愛憎渦巻く緊迫のドラマティック・オペラ。
情熱のたぎりをタクトに込めてマエストロ佐渡裕が
イタリアオペラの真骨頂「トスカ」を描く。



Cast

これぞイタリアオペラの醍醐味！
激情の炎に彩られた圧巻の傑作「トスカ」

ここは愛と情熱の国イタリア。
芸術文化センターでローマの夜が明ける！

二千年を超える都市の歴史が刻印された永遠の都ローマを舞台に、全編が観どころ聴きどころに彩られた「トスカ」。「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」「トゥーランドット」…数々の名作を残したプッチーニの作品のなかでも、とりわけ、そのドラマティックな音楽と緊張感溢れるストーリー展開で、今なお世界中の劇場で上演され続ける人気演目の一つです。イタリアオペラの真骨頂とも言うべきこの作品に、タクトにありったけの情熱を吹き込んで、マエストロ佐渡裕が挑みます。

スカルピア男爵の「行けトスカ」(第1幕)、トスカの「歌に生き、恋に生き」(第2幕)、カヴァラドッシの「妙なる調べ」(第1幕)、「星は光りぬ」(第3幕)などのひきもきらない輝かしい名アリアの数々と、緻密に計算され尽くしたオーケストラが、怒濤のごとく物語を深め、観客は、あれよあれよという間に息をのむ一大スペクタクル・ドラマに引き込まれていくのです。

昨年好評を博した華々しいオペレッタ「こうもり」から一転して、2012年の佐渡裕プロデュースオペラはサスペンス・オペラともいうべきシリアスな作品。国内外から結集した豪華なダブルキャストで、緊迫感溢れる物語を描き出します。豊かで美しい声質と圧倒的な存在感が求められるトスカに、気鋭の**スヴェトラ・ヴァシレヴァ**と地元が生んだ歌姫**並河寿美**。正義感溢れるカヴァラドッシに、**ティアゴ・アランカム**と日本が世界に誇るスーパーテナー**福井敬**。「色気」と「邪悪さ」という凄みが求められる難役スカルピア男爵に**グリア・グリムズレイ**と**斉木健詞**など、充実した顔ぶれがそろいます。演劇的な舞台創りに定評のある、名指揮者クラウディオ・アバドの子息**ダニエレ・アバド**による演出家チームが、イタリア人ならではの卓越した美的センスで、観るものを劇場にいながらにしている。でローマの街中にいるような気分になれることでしょう。

オペラ「トスカ」に寄せて ダニエレ・アバド(演出)

「トスカ」は、「ベルカント」という多様な真珠粒に適した背景でしかないかのように思われがちですが、真の主役とも言えるスカルピア男爵の登場をきっかけに、演劇的な仕掛けが苛烈な展開をする作品です。私たちは、真摯に言葉を交わす二人の若者トスカとカヴァラドッシが巧妙な仕掛けによって敗北し破滅するのを目の当たりにするのです。アリア「歌に生き、恋に生き」はそれが凝縮された瞬間で、美しいロマンティックなアリアとは程遠く、むしろ人間の魂を侵食する敗北と苦痛のただ中において、切々と歌い上げられるのです。

第1幕 舞台装置デザイン



Set design by Luigi Perego

トスカ

カヴァラドッシ

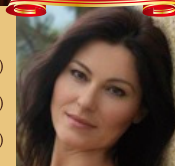
スカルピア男爵

アンジェロッティ

スポレッタ

堂守

シャルローネ



Svetla Vassileva
スヴェトラ・ヴァシレヴァ



Thiago Arancam
ティアゴ・アランカム



Greer Grimsley
グリア・グリムズレイ



Kyu Won Han
キウ・ウォン・ハン



Katsumi Narita
成田 勝美



Fumihiko Shimura
志村 文彦



Zhong Hao
ジョン・ハオ

7/19(木)
21(土)
24(火)
27(金)



Hisami Namikawa
並河 寿美



Kei Fukui
福井 敬



Kenji Saiki
斉木 健詞



Toru Onuma
大沼 徹



Satoshi Nishimura
西村 悟



Masashi Mori
森 雅史



Hidekazu Machi
町 英和

7/20(金)
22(日)
25(水)
28(土)

[合唱] ひょうごプロデュースオペラ合唱団 Produce Opera Chorus, Hyogo
オープニング記念第9合唱団 Opening Beethoven 9th Commemorative Chorus
ひょうごプロデュースオペラ児童合唱団 Produce Opera Children's Chorus, Hyogo
[管弦楽] 兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra
ゲストコンサートマスター／ステファノ・ヴァニヤレッツィ Stefano Vagnarelli
(トリノ王立歌劇場管弦楽団コンサートマスター)



兵庫芸術文化センター管弦楽団

看守(全日)



Daisuke Ohyama
大山 大輔

[指揮] 佐渡 裕 Yutaka Sado (芸術文化センター芸術監督) [演出] ダニエレ・アバド Daniele Abbado [演出補] ボリス・ステツカ Boris Stetka [装置・衣裳] ルイジ・ペレゴ Luigi Perego
[照明] ヴァレリオ・アルフィエリ Valerio Alfieri [映像] ルーカ・スカルツェッラ Luca Searzella [装置助手] ルーカ・フィラーチ Luca Filici [合唱指揮] シルヴィア・ロッシ Silvia Rossi
[演出助手] 菊池裕美子 Yumiko Kikuchi [副指揮] 矢澤定明 Sadaaki Yazawa 大川修司 Shuji Okawa
[プロダクション・マネージャー] 関谷潔司 Kiyoshi Sekiya [プロデューサー] 小栗哲家 Tetsuya Oguri

Story

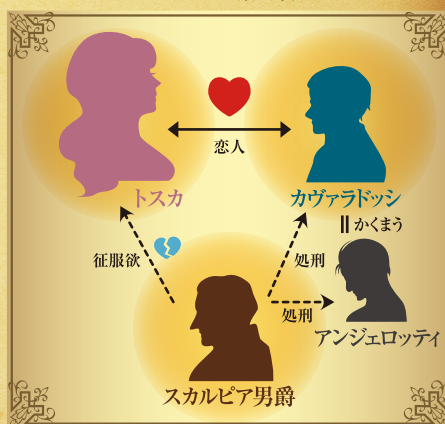
物語の背景

舞台は1800年の政情不安定なローマ。1796年のナポレオンの侵攻をきっかけにいくつかの共和国に再編されたイタリアですが、わずかな期間で崩壊寸前となり、かわって反共和国派のナポリ軍が駐留していました。そのナポリ軍が送り込んだのが冷酷な監視総監スカルピアだったのです。「トスカ」は単なる愛憎劇で終わることなく、その背景に史実を巧みに織り込むことで物語にさらなる緊張感と深みを与えています。

あらすじ

貧しい生まれでありながら、歌手として成功しているトスカ。その恋人で、教会で絵を描いている共和国派の画家カヴァラドッシが、脱獄囚アンジェロッティをかくまったことから、悲劇の火蓋が切られます。美貌のトスカに横恋慕し、常からカヴァラドッシをうとましく思っていたスカルピア男爵は、彼に執拗な拷問を加え投獄します。トスカは徹底的に痛めつけられる恋人を助けようとして、卑劣なスカルピア男爵は、カヴァラドッシの命と引き換えに自分のものになることを要求するのです。貞節か、恋人の命か、苦悶するトスカ。極限の選択の果てに待ち受けていたのは、あまりにも残酷な結末だったのです。

主な登場人物



Topics

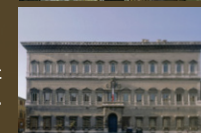
第1幕 聖アンドレア・デッラ・ヴァッレ教会

カヴァラドッシが絵を描いている教会。脱獄囚アンジェロッティと出会う。ヴァチカのサン・ピエトロ大聖堂に次いで高いドームをもつ天蓋のフレスコ画や祭壇が美しい荘厳な教会。



第2幕 ファルネーゼ宮殿

スカルピア男爵の執務室。バロック様式を確立したカラッチ(1560-1609)による美しい天井画がある。現在はフランス大使館として使われている。



第3幕 聖アンジェロ城

カヴァラドッシが収監され、処刑される牢獄。追いつめられたトスカが、身を投げる修羅場の舞台。城の頂上に天使の像があることから、聖天使城と呼ばれる観光名所。



実在するローマの名所がそれぞれの幕の舞台に

